

身边に買い物 気軽に移動 安心・住みよい八幡に



日本共産党の 代表は頑張ります

近年、八幡市内でスーパーなどの撤退・閉店が相次いでいます。身近な買い物場所がなくなることは、自動車を運転できない方々（高齢者や障がい者）にとって死活問題です。タクシーで買い物に行かざるを得ない方も生まれています。

日本共産党は市議会で、●撤退後の空き店舗対策（誘致など）●高齢者への宅配サービスや移動販売をおこなっている商店・商店街への支援——など、身近な買い物環境の整備を提案してきました。

買い物に欠かせない●公共交通の拡充とあわせ、「**買い物難民ゼロ**」の八幡市へ**日本共産党の代表**は全力をあげます。

*身近な買い物環境の整備を

- ・スーパーの誘致や移動販売
- ・買い物時のタクシー利用への支援
- ・路線バスやコミュニティバスの充実
- ・デマンド交通への支援

お約束

男山南センター
スーパー再開

日本共産党が尽力

2016年3月、44年間営業してきたスーパーが撤退し、周辺住民は買い物に困る事態に。

日本共産党は、▶新たなスーパーの誘致にむけ地権者への働きかけを強めるよう市に要求▶意欲を持つ業者さんへ直接、働きかけて出店要請——など再開へ尽力。10カ月後に新たなスーパーの入居・出店が実現しました。





大軍拡・市民負担増の政治でいいのでしょうか

日本共産党の代表は、はっきりものを言い、しっかり働きます

	日本共産党	自民	維新	公明
戦争に巻き込まれる 「大軍拡」	きっぱり 反対 戦争しないための平和の外交ビジョンを提案	推進 43兆円にのぼる大軍拡を提案	推進 「まだ踏み込みが足りない」(馬場代表)とおり、「核共有」議論開始を提案	推進 自民と一緒に43兆円もの大軍拡

八幡市からわずか10キロの祝園弾薬庫。他国を攻撃する長距離ミサイル「貯蔵庫」新設が計画され、府南部が出撃基地にされようとしています。ミサイルは2026～27年に配備される見込みで、今回選ばれる議員の任期中です。日本共産党の代表は、きっぱり反対の立場です。



水道料金 (18%) 値上げ (2022年3月議会)	値上げしなくても財源があること示し 反対	賛成	賛成	賛成
--------------------------------------	--------------------------------	-----------	-----------	-----------

八幡市は4月から水道料金、国民健康保険料、学校給食費の「3つの値上げ」を実施しました。物価高の中、暮らしをさらに厳しくする値上げです。

日本共産党の代表は、「3つの値上げ」ストップを掲げ、市民の暮らしを守るために全力を尽くします。

八幡でも府議会でも **「維新の会」**

改革どころか、正真正銘の
自民・公明と悪政推進の「与党」です

国庫に返さず
日本共産党は受け取り自体を拒否

政党助成金 ため込み 10 億円

その年に使わなかった政党助成金は、法律で原則国庫に返還と決められています。ところが10億4000万円を「基金」として次年度に繰り越し(2022年度)。国民の税金を、ふとろにため込んでいます。

「身を切る改革」を唱えますが、既得権益にどっぷりつかっています。看板に偽りあります。

府民の請願に反対

「小中学校の給食無償化」「選択的夫婦別姓の導入」

2022年12月府議会
2022年6月府議会

北陸新幹線・延伸を推進

松井山手まで、京都府の南北を深い地下トンネルで縦断。環境を破壊するうえ、4兆円とも言われる総工費。孫子の代まで大借金に苦しめられます。

統一協会と蜜月

癒着解明求める意見書に反対・否決

統一協会系の新聞「世界日報」のインタビューに、馬場代表が国会議員で最多の登場。相当な蜜月ぶりです。

「統一協会と政治家との癒着解明を求める」意見書を反対・否決しました(2022年9月府議会)。

**“カジノのためにも
新幹線”**

吉村大阪府知事

カジノ開発にも触れ「関西経済全体のネットワークが必要だ」
北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西
2022年11月25日

